リーディングDXスクール事業 【実践事例】

高知市立義務教育学校土佐山学舎（高知県）【指定校】

【取組内容】 児童生徒の出欠情報の共同編集及び共有

児童生徒の出欠に関する情報を
① 連絡を受け付けた教職員自身の端末から，随時入力可能
② どこからでも，端末さえあれば，情報共有が可能

Googleスプレッドシート

12月10日（火）	欠席総数	16
	5年	8

右に全体集計があります

no	学年	氏名	出欠等	状況１	出停理由	状況２（詳細　手入力）	受付者
1	4年		遅刻	腹痛		熱なし　病院へ行ってから登校予定	
2	5年		病欠	発熱		38℃　今日病院へ行く	
3	2年		病欠	腹痛			
4	2年		出席停止		インフル…		
5	2年		出席停止		インフル…		
6	5年		病欠	発熱		37.5℃　咳	
7	2年		遅刻	本人の事情		10：45登校	
8	8年		遅刻			8：27	
9	8年		遅刻	本人の事情			
10	1年		遅刻	本人の事情			
11	2年		遅刻	本人の事情		9：40登校	
12	4年		出席停止		インフル…		
13	6年		出席停止		インフル…		

	出席停止	病欠・事故欠	計
1年	1	0	1
2年	2	1	3
3年	1	0	1
4年	1	0	1
5年	6	2	8
6年	2	0	2
7年	0	0	0
8年	0	0	0
9年	0	0	0
計	13	3	16

・担任が教室で業務していても，端末から情報を見ることで職員室等への連絡なしでも，受け持ちの児童生徒の出欠情報を確認できる。
・スプレッドシートの利用により，出欠統計等の処理がスムーズになった。

校務DXによる業務改善につながっている